

学校 教育 目標	「知恵だせ 汗だせ 明るい子」 ○自分の課題をもち、その解決に向けて取り組もうとする子を育てます。(知) ○自分や友達のよさを認め合うことができる子を育てます。(徳) ○自他の生命を大切にしようとする子を育てます。(体) ○地域の人やものを大切に、共に生きようとする子を育てます。(公) ○多様性を尊重し、社会とのつながりを大切にしようとする子を育てます。(開)				
	学校 概要	創立 50 周年	学校長 大原 敦子	副校長 村上 尚子	2 学期制
児童生徒数： 208 人		主な関係校： 鴨居中学校・緑小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	鴨居中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	鴨居中学校 緑小学校 竹山小学校	○自ら進んで学ぶ児童生徒 ○「問題発見・問題解決の能力を育てる指導方法の工夫」をブロック合同授業研究のテーマとし、各教科・領域においてテーマを意識した授業改善に取り組む。(授業研究会は6月・9月 取組は通年)○児童生徒理解をさらに深めるために、随時情報交換を行う。(情報交換会は8月設定)○小中合同の学校保健委員会を開催し、小中が連携して同じテーマに取り組む話し合うことで、自分たちの健康についての意識を高める。
<問題発見・解決能力> <自分づくりに関する能力> <言語能力>		

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりを大切に、異学年や竹山の「まち」や「人」とかかわりながら、思いやり協力し高め合える学校にします。 ・個性や特性を受けとめ互いに認め合える集団づくりを目指し、どの子にも居場所のある温かい学校づくりをすすめます。 ・様々な活動の中で「めあて」と「振り返り」をしっかりと行い、自ら「分かった」「できた」と気付き、次への意欲につながれるように活動をすすめます。 ・竹山の「まち」や「人」との活動を通してつながりを意識し、竹山の「まち」を愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①感染防止対策を取りつつ、友達・異学年・まちの方と交流できる場を検討し、児童が「人」とふれあう機会を可能な限り増やし、児童の心の安定を図る。②校内重点研究、横浜プログラムを通して、一人ひとりが「分かった」「できた」と感じられる学習を展開する。③詩などを校内に適宜掲示する。
担当 人権・サポート部	
生きてはたらく知	①重点研究を通して、「学びに向かう力・人間性」の中で「粘り強く取り組む」点に焦点を当てる。その際既習内容やタブレットなどを課題に向かう際のツールの一つとして活用する。②GIGAスクール構想元年として、今までのノート指導とのハイブリッド活用を実践を通して検討する。
担当 プランニング・リサーチ部他	
特別支援教育	①本校に必要なUD的授業づくりについて、研修を通して学習に必要な支援やSSTに関することなどを学び、生かしていく。②国際教室設置を生かして、日本語の支援が必要な児童の困り感を職員で共有し、減らしていけるように取り組む。
担当 特別支援委員会	
児童指導	①YPを活用した児童の見取りや、職員室で児童の話をオープンにしたり、その中で児童を見取る視点を深めたりできるような雰囲気づくりを進める。②GIGAスクール構想を進めるにあたって、今まで以上に情報モラルについての指導を外部とも連携して行う。
担当 専任・サポート部	
健やかな体	①家庭との一層の連携を図り、感染予防対策を中心に自分のからだを自分で守るための活動を推進していく。②自粛に伴う肥満傾向の増加、体力低下解消のため、体力づくりに継続して取り組み、ブロックで成果を共有する。例年以上に話を聞き、児童のメンタル面へ丁寧に寄り添う。
担当 保健・体育部	
地域連携	①創立50周年の活動を通して、学習を生かした活動の成果物等で地域との交流を深め、ともに50周年を祝う。②コロナ禍でも日々児童の安全を見守ってくださるパトロール隊への感謝の気持ちを、可能な形で伝える。
担当 教務部	
食育の推進	①食育月間を活用し、朝食の大切さ、間食の見直しなどが児童により定着するようにする。②給食週間や学校給食を活用し、食材の3色分けやその働きを概ね理解できるように朝食や掲示板、栄養黒板、バランスイ〜ナワーク等を活用し継続して取り組む。
担当 食育部・保健部	
担当	
いじめへの対応	①長期のコロナ禍での生活で、児童にじわじわとかかるストレスを軽減できるよう、チームで様子を丁寧に見取り、話をしっかりと聴くことでいじめに繋がらないようにする。②平時よりどの学級にも専任はいじめ様々な職員が入り皆で児童に関わることが自然な状態とし、変化に素早く気付けるようにする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①職員が研修等外部で学んだり得たりしたことを校内に還元できるようにする。②年間行事の見直し、環境整理を行い、スリム化に取り組む。周年行事と日々の学習を関連付けたカリマネを行うことで、内容の充実と仕事の負担軽減につなげる。③Tいじろうマークを活用し、水曜日は定時退勤日とする。
担当 教務部	